

第十三回隠岐古典相撲大会
激しい立ち合いに塩が舞う



隠岐の島 10 2007 神無月 October 第36号

総合誌 おきのしま

人口と世帯数
平成19年9月1日現在
人口 16,668(-20) 人
男 7,913(-8) 人
女 8,755(-12) 人
世帯数 7,381(-9) 世帯
※括弧内は前月比

第13回隠岐古典相撲大会 2

CONTENTS

- まちのできごと・わがとこ知っとこ 5
- 8月31日豪雨災害 7
- まなびのひろば・としょかん 8
- 公民館コーナー 10
- まちの施策 11
- お知らせ・行事予定表・広告 12



熱戦15時間 第十二回隠岐古典相撲大会



最初の取組となる草結。2人の若き役力士に激励の塩が舞います



五箇少年相撲倶楽部による相撲踊り



顔見せ土俵入りは3時間に及びます



テントで一休み。英気を養います



時刻は午前4時。熱気は衰えません



個性豊かな呼び出しも見所です



15時間の古典相撲もいよいよクライマックス！正三役大関戦



乱れ飛ぶ塩は古典相撲の特徴の一つ



全力を尽くした後は互いに健闘を称えあいます



土俵を囲む観客の輪は朝まで途切れることはありませんでした

「座元は……のあんさん！」
「寄方は……のおつあさん！」
日付が変わってからすでに数時間。隠岐水産高校グラウンドでは、呼び出しの威勢のいい大声が響き渡ります。
隠岐古典相撲で行われる取り組みは300番以上。しかしその熱気は深夜に至っても冷めることはなく、最後の一番に向かってますます加熱していきます。

9月15日(土)から16日(日)にかけて、隠岐水産高校の創立百周年を祝って行われた隠岐古典相撲は昨年の隠岐空港大会に続いて2年連続の開催となりました。

15日夕方、隠岐水産高校グラウンドに作られた特設土俵には、早くも多くの観客が詰めかけます。土俵祭として神事が行われた後、本行司が土俵上で約20分に及ぶ行司口上を述べて開幕となりました。

まず最初に行われるのは顔見せ土俵入り。座元・寄方の順に出場力士が一人一人紹介されます。今回は、座元が隠岐水産高校の所在地である東郷地区を含む西郷・布施地区、寄方が五箇・都万地区、島前という組み合わせ。約200名の力士を3時間に渡って紹介

するこの顔見せ土俵入りで、会場も力士たちも少しづつ緊張感を高めていきます。

顔見せ土俵入りの後は、古典相撲最初の取組で役相撲でもある草結戦。2人の中学生力士の両肩に大きなプレッシャーのしかかりますが、2人とも堂々とした取り口で会場を一気に暖めました。

多くの歓声とおひねりが飛んだ五箇少年相撲倶楽部による相撲踊りの後、中学生による割相撲、続いて高校生・一般の割相撲が夜を徹して行われます。割相撲の間の午前0時ごろには中憩が入り、主催者・来賓あいさつと鏡割り、「出雲相撲甚句会」による相撲甚句が披露されました。

東の空が白んだ頃に正五番勝負が、そしていよいよ地域の誇りを背負う役力士が登場する役相撲が始まります。力士の背中には大量の塩が舞い、会場の雰囲気は千秋楽の正三役大関戦で最高潮に達しました。

今回の古典相撲は8月31日未明の豪雨災害により開催が危ぶまれ、延期なども検討されました。しかし、被災された方に元気を出してもらおうということで、最終的には予定通り9月15日の開会ということになりました。今回の出場力士の中には被災された方も少なからず居られたということですが、天候にも恵まれ、素晴らしい大会となった今回の古典相撲で元気を取り戻してくれればと願ってやみません。

戦い終えて—— 大会の主役たちに聞く

松井雄介さん

(座元 正三役 大関 富士の龍)

今回の大会に正三役大関として出場することが決まり、とても嬉しい反面、大変な緊張感を覚えました。

対戦相手の宇野さんは、水産高校相撲部の1年先輩で、力、技術ともに備えた尊敬する力士であり、母校の創立百周年記念大会で取り組むことが出来ることを光栄に思いました。

毎日の練習では、地域の人たちから一生懸命お世話をいただき、「相撲は一人では出来ない。地域があつてはじめて土俵に上られるんだ」という感謝の気持ちとともに、地域の期待を背負っているという責任感を強く感じました。

取り組みでは緊張もしましたが、それを押さえ込む気合で臨みました。今は、応援してくださいました人たちに、後輩への相撲の指導も含め、色々な意味で恩返ししたいと考えています。



宇野智博さん
(寄方 正三役 大関 万竜)



正三役の大関に選ばれたことは、光栄なことであり、嬉しかったです。

練習では、本当にたくさんの人達に支えていただきました。その期待に応えるために、練習もこなせたように思います。

ずっと続いていた緊張感も、呼び出しを受けて土俵に上がったときには、あまり感じず、ただ勝つぞという気持ちで集中していました。

立ち会いは、当たって一気に押し、こちらのペースでいこうと思っていましたが、松井君の立ち会いが早く、自分で納得のいく相撲はとれませんでした。

取り組みを終えて、安堵と同時に悔しさも残りますが、これからは、地域の皆さんに恩返しをしていくつもりです。まず、地域のちびっ子力士たちを育てていくことが、私にできることだと考えています。

山根智徳さん (座元 草結 吉乃山)



古典相撲の草結びに選ばれた時は、少しプレッシャーを感じました。

土俵に上がったときは緊張感もありましたが、割とリラックスできたように思います。取り組みについては、とにかく押し出すことだけを考えていました。なんとか自分の力が出せたかなと思います。僕にとって相撲は、自分自身を出せる場だと思っています。今までお世話になった皆さんに少しでも恩返しが出来よう、これからも頑張りたいです。

笠根純平さん (寄方 草結 旭嶽)



古典相撲の取り組みは初めてだったので、こんな大役を自分でいいのかなと、すごいプレッシャーでした。

毎日の練習は厳しく、帰ったらすぐに寝てしまう毎日でしたが、地域の人たちのつくってくれるご馳走は本当に美味しかったです。当日会場に入ると、今まで経験したことがないくらい緊張しましたが、とにかく精一杯がんばりました。これからも一生懸命練習して、機会があれば是非古典相撲に出たいです。

藤岡耕二さん (本行司)

古典相撲で本行司を務めることになり、最初は出来るかどうか不安もありましたが、受けた以上は精一杯のことをやろうと思いました。

本行司に決まった翌日、早速母校の水産高校を訪ね、百年の歴史を調べて、口上を作成、毎日の練習が始まりました。朝に1時間半、昼に1時間、隠岐空港近くの公園に行き、車の中で練習を重ねました。

大会が近づくにつれ、自分が口上を述べる場面に夢にまで出てくることもありました。

当日は、すべてが初めてのことで、とても緊張しましたが、行司口上では、次から次へと言葉が頭に浮かび、自分の中では練習の時よりうまくできたのではないかと思います。

15時間にも及ぶ熱戦の数々。力士、役員、そして観客の皆さんがひとつになり、素晴らしい大会となりました。古典相撲には、地域をひとつにまとめる力があります。これからもずっと続いていくことを願ってやみません。



まぢの できごと

トピックス in 隠岐の島町

8月22日 語りかける愛情で幸せを広げる
隠岐の島町ブックスタート事業



絵本をきっかけに楽しい子育てを

絵本を介して心安らぐ楽しい子育ての時間を過ごしてもらおうことを目的と

8月25日 第1回竹島の領土権確立を
求める集い in 隠岐開催

8月25日(土)、五箇生涯学習センターで、「第1回 竹島の領土権確立を求める集い in 隠岐」が開催されました。これは、政府に竹島問題を所管する組織が設置され、一日も早い竹島の領土権が確立されることを目指し、連合中国ブックや島根県等がつくる実行委員会によって今回初めて開催されるものです。

まず『竹島の日』条例の意味」と題して拓殖大学の下條正男教授が基調講演を行い、続いて布施中学校の常角敏教頭が、竹島問題が多く取り上げられ、



対談形式で竹島の思い出を語る八幡さん

自身も編集に関わった副教材「ふるさと隠岐」の編集の過程や、子供たちに郷土に関心を持ってもらうための取り組みなどを紹介しました。

次に、昭和29年に竹島に渡った久見の八幡尚義さんが、当時の渡航の経緯や竹島の様子、また小さい頃にアシカと遊んだことなどを、常角教頭を聞き役に語りました。

最後に、国に対して国民の理解を深める取り組みや粘り強い外交努力を求め、領土権確立に向けて一層の運動を展開するという共同アピールが、当日訪れた200人の参加者によって採択されました。

9月7日 隠岐郷土館改修記念
隠岐騒動特別展示を開催中

9月7日(木)から、隠岐郷土館の改修記念事業として、隠岐騒動特別展



貴重な品が並ぶ特別展示室でのお話

の開催で、開館時間は午前9時から午後5時まで。入館料は個人300円、15人以上の団体は1人250円となっています。ぜひお越し下さい。

9月8日 島から発信される文化の情報 隠岐学セミナーを開催

9月8日(土)、隠岐島文化会館で、「隠岐学セミナー」が開催されました。第13回となる今回は、講師に隠岐学セミナーの呼びかけ人である麗澤大学教授の松本健一氏と、前鳥取県知事で慶應義塾大学教授の片山善博氏を迎えて行われました。

まず松本氏が「歴史のなかの地域と人間」と題して講演し、人口減少で危機感を持ち、歴史を軸に様々な取り組みを行っている萩市の例などを紹介しながら、「古いものを現代人に必要なものとして“取り戻す”ことが求めら



「下請け体質からの脱却」をテーマに講演された片山氏

れている」と指摘しました。続いての片山氏による「地域の自立と再生はどうすればよいか」と題しての講演では、知事在任時の国とのやり取りや民間企業と関わった経験などを例に挙げ「官依存体質・下請け体質からの脱却」の必要性を説きました。また地域振興には“地のもの”を前面に出していくことが大切との認識を示し、竹島問題の資料を集めた施設を作って地域振興に繋げることを提案しました。

9月12日 敬老の日を前に 町内の高齢者を表彰

17日の敬老の日を控えた9月12日(金)、今年100歳を迎えられた方と最高齢の106歳の方、合わせて11人に、記念品と祝状が贈られました。おめでとうございます。これからもお元気で！



写真は町内最高齢、106歳の那久の安部ヲリメさん

わがところ 知っところ

第7回 歴史編 vol.3

しげさ節のルーツは新潟に? 北前船が運んだ多彩な文化

江戸時代中期から後期にかけて、隠岐は、大阪と日本海諸港を結ぶ「北前船(西廻り廻船)」の寄港地として隆盛を極めていました。

西郷港に入港した船の数は、多い年で2000隻近くにもものぼったと古文書にあり、いかに多くの人たちが隠岐にやってきたかが伺えます。

さて、隠岐といえば、「しげさ節」、「どつさり節」、「キンニヤモニヤ」など数多くの民謡の宝庫ですが、これらの民謡の多くが、実は北前船の船乗りたちによって伝えられた唄がルーツであることをご存知でしょうか。

たとえば、「しげさ節」。この唄は、越後地方に伝承されている盆唄「しゅげさ」が元唄と言われ、隠岐に伝承し「しげさ」となったものと伝えられています。

盆唄「しゅげさ」は、越後の専福寺にいた法話の巧みな美男子の僧侶を賞讃して歌ったのがはじまりといわれており、越後では「出家」のことを「しゅつけさ」と云うこ

ろから、この唄が生まれたとされています。越後地方のしゅげさ節の歌詞を紹介すると…

♪しゅげさ しゅげさと
恋をする しゅげさ
しゅげさの 御参詣 山坂こえても
参りたい ♪

このように、隠岐のしげさ節と極めて良く似ています。

この他に、「どつさり節」「隠岐追分」「盆唄」等は、北陸、北海道から、「キンニヤモニヤ」「舟祝い唄」等は、九州方面から伝わったようです。

江戸時代の西郷港周辺を思い描いてみましょう。きつと、多くの酒場が立ち並び、いたるところで唄と三味線の音色が響きわたっていたのではないのでしょうか。

●参考文献「隠岐の民謡」近藤武者

町の中に燈台？

これは、西郷港近くの出雲大社分院にある石灯籠です。北前船が西郷港に入港する際に、燈台として利用されました。滑車で火を吊り上げる仕組みとなっており、このような石灯籠は那久岬にも設置されています。



8月31日未明 記録的豪雨により 町内各所で大きな被害

8月30日から31日未明にかけて、町内では記録的な集中豪雨により、床下・床上浸水、土砂崩れなど各地で大きな被害が発生しました。

8月30日23時30分から31日2時30分の間の解析雨量では、西ノ島町と隠岐の島町付近で1時間120ミリ以上の大雨となり、31日1時30分には、那久地区で1時間131ミリの猛烈な雨を観測しました。この大雨で発生した被害の状況は次の通りです。(数値は9月7日現在)

1. 人的被害 なし

2. 住家被害

- (1) 全壊 1棟
- (2) 一部損壊 9棟
- (3) 床上浸水 117棟
- (4) 床下浸水 245棟

3. 非住家被害

- (1) 全壊 1棟(倉庫)
- (2) 半壊 1棟(倉庫)
- (3) 浸水 101棟(公共建物)
- 9棟、その他浸水 92棟

4. 土木施設等被害(町・県管理の合計数)

- (1) 道路 116路線
- (2) 河川 90河川
- (3) 下水道施設 8施設(集排等)
- (4) 水道施設 9施設(簡易水道)
- 7施設、上水道2施設
- 5施設 378戸



災害ごみも大量に発生



原田地区の齊宮橋。橋の高さを越える水が押し寄せ、床上浸水が多く発生しました。

5. 農林水産施設等被害

- (1) 農地 98箇所
- (2) 農業施設 95施設
- (3) ため池 3箇所
- (4) 林地崩壊 83箇所(裏山等補助対象15箇所)
- (5) 林道 50路線(700箇所)
- (6) 漁業施設等 5箇所
- (7) 漁船 6隻

6. 文教施設(町管理分)

- (1) 小学校 7校(校庭法面崩壊、裏山崩壊、浸水、雨漏り)
- (2) 中学校 4校(通学路土砂崩れ、雨漏り)

7. 廃棄物処理

- (1) 一般廃棄物 約4,755^m (処理:1,616台3,600^m、都万仮置:1,155^m)
- (2) し尿 195件 (搬入量 213t)

町民の皆様へ 隠岐の島町長 松田和久

この度の豪雨災害により被害を受けられました町民の皆様方に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

8月31日未明より降り続いた大雨は、家屋、道路、河川はもとより農林漁業関連、上下水道施設など広範囲に渡り、これまで私たちが経験したことのない未曾有の被害をもたらしました。災害から1ヶ月が経過しようとしています。

ですが、主要生活道、水道などのライフラインは一応復旧致しましたが、災害の爪跡は深く、完全復旧には尚、多大な時間と労力が必要となります。不安な日々を送っておられる被災者の方々は今なお相当数いらっしゃると思います。

隠岐支庁をはじめ、本町におきましても、災害復旧に向け測量調査設計等に取り組んでいる最中ですが、町民の皆様が一刻も早く元通りの生活ができますよう、全力を挙げて努めて参ります。

どんな些細なことでも結構です。何かありましたら役場へご連絡ください。



元気印育成計画

7月22日(日)より、池田地区において「元気印育成計画」がスタートしました。県の「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業を受けて行われた事業で、家族や地域のきずなを深め、地域力のさらなる向上を目的としています。6月末に実行委員会を開き、どのように事業を展開していくかを話し合いました。地域のために熱く語る方々に感動しました。(スタッフとして、子ども会・池田分館・池田区・池田地区スポーツ振興会・隠岐自然クラブ等のメンバーが協力)ラジオ体操後の時間を利用して、子どもたちやその親がロープワークや昔の遊び、竹ばしづくり等を体験しました。ロープワークでは基本的な「もやい結び」をはじめ日常でよく使い、知っておくと便利な結び方を学習しました。参加した大人からも「こんな便利な縛り方があったなんて、参加してよかった。」という感想が聞かれました。



竹皿づくりの様子

竹ばしづくりでは、小刀を初めて使う子どもたちがほとんどでしたが、どんどん上手になっていくことがうれしかったです。また、飯ごう炊さんや竹ばしづくりの集大成として8月26日にはカレーづくりをしました。見事練習の成果が実り、飯ごうでおいしいご飯が炊けました。竹を半分に割り、縁を小刀で削り竹の皿を作りました。その皿にカレーを盛りつける姿に、たくましさを感じました。今回の事業は、スタッフや保護者のみなさんには大変なところもあつたようですが、家庭で話題にあがったり、地域の方と親しくなるきっかけになったりしたようです。

大満寺教育キャンプ

今年も有木地区の協力のもと大満寺教育キャンプ村が開村しました。7月25日(水)の都万小学校をスタートに有木小学校、五箇小学校、布施小中学校の児童生徒・教職員約120名の利用がありました。

キャンプファイヤーでは、炎の明かりに照らされながら、レクリエーションやスタンプを通して、子どもたち同士が互いを認め合う姿が数多く見られました。

肝試しでは、先生から大満寺にまつわる怖い話を聞いた後、お墓や庫裏(くり)をまわりました。隠れている大人がいろいろな方法で子ども



営火長から分火を受ける五箇小児童



冷たい水を浴びながら沢登りを楽しむ有木小児童

たちを驚かせ「2人でも怖いのに、1人だったら泣いていた。」という声も聞かれました。大人の方は蚊との戦いで大変だったようです。子どもたちには一番人気だったのが沢登りでした。沢には四つの滝があり、初めはザイルを持つ顔が引きつっていましたが、最後の方には笑顔がこぼれていました。先生の中にも沢登りは初めてという方もおり、楽しい思い出になったようです。大満寺でのキャンプは、電気、ガス、水道(沢から引いた水はあります)のない不便な生活です。しかし自分や友達の力を再発見したり、協力することの大切さを学ぶ絶好の場であると考えます。来年度もたくさんの方のご活用を期待しています。



隠岐の島町教育委員会
TEL 08512-2-2006
Mail okidogo@mx.miracle.ne.jp

第18回 町の元気印 釜佐々木家のおばさんグループ

今回の元気印は、重要文化財「佐々木家」で昼食サービスを行なっているおばさんグループです。平成16年末に「佐々木家に」こられた観光客にお茶でもサービスできんかな?」の一言から、始まった昼食サービス。①季節の旬しか出しません。隠岐の四季をお楽しみください。②日常自分たちが食している物をそのままのスタイルでお楽しみください。大皿に盛ってお出しします。この2つの信念のもと、一食1,600円で自分たちで手がけた地場産品を提供しています。

一例をあげると夏は「そうめん」「ところ天」「べっこ」「亀の手の吸い物」「押し寿司」「玉ねぎの粕漬け」デザートに「つるし柿」。平成18年4月から11月までの佐々木家の入館者2,174人のうち食事を楽しんだ方が554人にも昇ります。おばさんたちは、自分たちの持っているものを力として活かして、「外貨」を獲得し、小さな商売の楽しみも感じている様子。しかし、数字ばかり追いかけすぎて、もてなしの味が薄くならないよういつも話し合っているとのこと。にっこり笑って、「また会いましょう。」が一仕事を終えた後のおばさんたちの合い言葉。これからも釜地区地域活性化の核として頑張れ、釜のおばさんたち!



～しまのたからもの～ Vol.2

八百杉(別名:惣社(そうじゃ)杉(すぎ))は、玉若酢命神社の境内にあります。樹齢は千年とも2千年ともいわれ、県内の杉としては第一の大木です。樹高は約30m、地表面の根元の周囲は約20mあります。八百比丘尼伝説もあります。昭和4年12月に国の天然記念物に指定されました。



としょかん

隠岐の島町立図書館
電話 08512-2-2341
FAX 08512-2-9198
メール s-tosho@mx.miracle.ne.jp
●開館時間 10時～18時
●休館日(月曜日・第3日曜日・祝日)
※祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も休館

読書の秋

～図書館をご活用ください～

読書をするのにちょうどよい季節になりました。図書館には様々な分野の本があります。秋の夜長にテーマを決めて読書をしてみませんか。

最近図書館でよく読まれている作家は東野圭吾です。直木賞を受賞した『容疑者Xの献身』をはじめ、笑える作品からシリアスな作品まであります。一度読んでみてはいかがでしょうか。

また、横地文庫には山岡荘八全集や漱石文学全集も入っていますので、こちらもおすすめします。

●図書館では隔地サービスも行っており、電話一本でお近くの公民館(中村は出張所)まで本をお届けします。都万、五箇、布施、中村地区の方にご利用いただいています。

吉井友美さん『ゆめのはなし』展

隠岐の島町出身で、現在埼玉県にお住まいの吉井友美さんの絵画展を開催します。現代童画展で新人賞を受賞した絵をはじめ、アクリル絵の具や、色鉛筆などで描かれた素敵な絵の展示を行います。ぜひお越しください。

日時: 11月3日(土)・11月4日(日)

場所: 隠岐の島町図書館研修室

本のリサイクル市

11月3日・4日の2日間、本のリサイクル市を行います。

ご家庭で不要になった本などがございましたらぜひ図書館へご寄贈ください。※お手伝いして下さる方も募集しています。



公民館 コーナー

都万公民館

「遊びと学びの広場」 実施中!

都万公民館では、毎週月、木曜日、放課後の子ども達の居場所を提供を目的に「遊びと学びの広場」を開設しています。

普段は公民館図書室で安全管理員さんのもと、読書や宿題、折り紙など



新聞兜でご満悦!!

をして過ごしていますが、月2回は都万小学校の図書室と体育館で工作、一輪車、バトミントン、卓球等の活動も行っています。

夏休み期間中は「夏休み宿題教室」を開催しました。7月後半の前期と8月後半の後期に分けて開催しました。特に後期は都万小学校と合同開催し、3名の先生が指導に来られ、連日30名前後の子ども達が集まりました。新学期も間近なせいか、子ども達もいつも以上に真剣に宿題や一学期の復習に取り組んでいました。また関連事業として年間5回ほど「子どもミニ教室」を開催しています。料理や手芸、工作などの教室で楽しく学んでいます。



食推都万支部の皆さんのご指導のもと、料理教室を開催

布施公民館

ふせ塾「星空観察」 夏の夜をみっけよう!

布施青少年育成連絡協議会が行っている事業「ふせ塾」の「星空観察」が8月10日(金)に行われました。「ふせ塾」とは、ふるさと布施の自然の中で様々な体験活動を行うことにより、布施を愛し、心豊かたぐましい布施っ子を育成することを目的とした活動です。

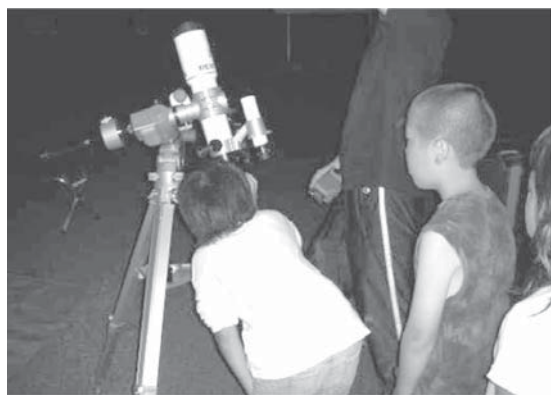
今回は、布施郵便局の北野大作さんを講師に招き、夏の星座や木星などの天体を観察しました。天気が良



北野さんから望遠鏡の見方や注意事項を教わります。

く、場所も星の観察に適した大峰山に移動して行ったので、星をとて綺麗に見ることができました。子どもたちはシートの上に寝転がりながら、北野さんから星座や天の川の話、この時期の夜空の目印となる夏の大三角形の見つけ方などを興味深そうに聞いていました。

また、望遠鏡で白鳥座のくちばし部分の二重星「アルビデオ」や木星などを見せてもらいました。普段、望遠鏡を使って星を見るという機会がないので、参加した子どもたちや公民館職員も興味津々で覗きました。木星の衛星や二重星が見えると、「あっ、見えた見えた!」と声を上げて喜んでいる子もいました。



「あっ、見えた!」
望遠鏡から見る星もきれいでした。

まちの 第4回 施策

定住・雇用対策について

定住対策室長 岡田 清明

1. 定住対策室の設置経緯
本町の経済環境は、国の公共事業縮減による影響や農林水産業の低迷などで非常に厳しく、産業の振興と雇用の確保は緊急の課題となっています。こういった状況の中、平成18年4月に、人口減少の歯止めや雇用対策の一環として、観光商工課内に、新たに「定住対策室」が設置されました。
現在、定住・雇用対策として、どういった取り組みを展開しているのか具体的に紹介します。

2. U・Iターナーの受け入れ

民間との協働で田舎体験暮らしツアー実施

団塊世代の大量退職を受けて、日本



田舎暮らし体験ツアー

全国で団塊の世代の地域への受入が積極的に取り組まれています。本町においても田舎暮らしを好む団塊の世代や若者の受入を民間団体と協働で取り組んでいます。特に団塊の世代は、さまざまなノウハウを身に付けている「第2の金の卵」という事で、産業振興や地域振興に活躍できる人材として、本町への定住を勧めています。今年度は3本の「田舎暮らし体験ツアー」で県外から約40名の参加者を予定していますが、参加者には、その地域にしかない自然や文化「人の情」に触れて、隠岐を好きになってもらう事が将来への定住に繋がっていくものと考えています。

3. 離島への企業誘致

●コールセンター誘致で雇用創出

昨年からの継続して、雇用促進の即効性が望めるコールセンター業の誘致に向け、関西、関東方面へ精力的に企業訪問活動を行っています。本町へのコールセンター誘致は、電話の受信を主としたインバウンド系の業務形態を考えています。企業側からは、離島であるが故のハンデ(オペレーターの設定・確保など)が不安材料となっています。しかし、田舎は都会に比べて経営コストが安く、また、都市部に集積しているセンターの災害時対応用(データ保存等)の小規模センター(30〜50人程度)であれば、企業側のメリットもあるので、隠岐地域への企業進出は十分

に可能性があると考えています。今年の4月には、県が新たに「離島地域コールセンター雇用助成制度」を創設しましたので、誘致に向けて更に加速した活動を展開しているところです。

●雑魚を活用した隠岐の特産品作り

昨年より、東出雲町の蒲鉾業者と共同で隠岐近海で捕れる雑魚(市場に流通しない魚)を活用した蒲鉾の試作品を製造しています。今年3月には、原魚の安定的な供給を確保するために、地域に出向き、定置網を中心とした島の集荷システムを構築いたしました。原魚は1kg/50円で漁師さんから買い取り、中村の加工場ですり身にし、布施の漁村センターで練り製品として島内販売しています。8月の盆の期間中には、隠岐空港と西郷港で帰省客や観光客に試作品のモニター販売をしながら、新鮮さと手作り感が好評です。すぐ売り切れ状態となりました。

進出企業は、企業の採算ラインとして高品質の製品開発や安定した原魚の確保を求めています。最も大事なことは、蒲鉾作りに関わっている地元水産関係企業や婦人グループがビジネスチャンスとして捉え「元氣」になることとであり、これが将来の隠岐蒲鉾工場の建設に繋がっていくと信じています。

4. 新産業の創出

●木質バイオマス(リグニン)の利活用
地球温暖化問題やエネルギー資源の枯渇を受け、21世紀は地球に優しい環

境の時代だと言われています。本町においても昨年度に循環型社会を目指した「隠岐の島町新エネルギービジョン」を策定し、今年度はこのビジョンで示した、林地残債や松食い虫被害木、風倒木などの未利用資源を活用した木質バイオマス(リグニン)の事業化についての検討を行っているところです。

木質に含まれているリグニン(植物に含まれる有機化合物)は、家具・食器類からパソコン、携帯電話、自動車部品まで、色々なものが作れる原料として、研究が確立されつつあり、本町は、豊富な森林資源量とインフラ整備(道、港)により効率的な物流環境が整い、また、島が丸ごと団地化となっていることから、リグニンの生産モデル地区として最も適した地域であります。現在、この優位性を生かして、三重大学やJST(科学技術振興機構)などと共に日本で最初の「木質バイオマス(リグニン)実証プラント」建設に向けた取り組みを行っています。



隠岐の島町における木質バイオマス事業化可能性研修会



気をつけよう！結核



「忘れていませんか、結核～今でも年間約3万人が新たに発症しています！」

結核流行の3つの理由

- ①若い頃に感染した人が、高齢化で発病→高齢者の発病が多くなる
☆隠岐圏域でも高齢者の発症が多い状況です！！
- ②未感染者の増加と免疫力の低下→集団感染の可能性が高まる
- ③結核への感心の薄れ→受診や診断の遅れによる重症患者の増加

発病しやすい人は…

- 免疫力が低下している人
- 高齢者
- 乳幼児



結核予防のポイント！

規則正しい生活と健康管理 予防接種・早期発見

- ①長引くせきや発熱、体重減少などの症状があれば早期に受診しましょう
- ②乳幼児には早期にBCGの接種をしましょう
- ③栄養のバランスのとれた食事に気をつけましょう
- ④禁煙しましょう
- ⑤疲労を避け、ストレス解消をしましょう

正しい知識を持ちましょう(○×クイズ)

- ①結核は「不治の病」である(○or×)
⇒×薬を6～9ヶ月程度服薬すれば治すことができます。
- ②「うつること(感染)」と「結核になる(発病)」は同じである(○or×)
⇒×結核菌を吸い込んで免疫により菌が押さえつけられたまま発病しないことがほとんどです。
- ③結核になった人全員が他人にうつす(○or×)
⇒×感染しても結核菌を外に出していないことがあります。

＜お問い合わせ先＞ 隠岐保健所 総務医事グループ 電話：2-9712

自衛隊生徒を募集します

◆自衛隊生徒の概要
陸上自衛隊では、若きエンジニアを養成し、優れた最新装備を駆使できる専門技術者を求めるため、中学校卒業者を対象に採用する制度です。

◆教育及び卒業資格
自衛官として必要な防衛教育、各種技術の基礎等の教育や各種訓練などを受けながら、入隊と同時に高等学校の通信制課程に入学し、高等学校の普通科と同等の教育を学び、生徒教育3年修了時には、高等学校の卒業資格を取得できます。陸上自衛官として勤務し、給与等を支給されながら高等学校教育を受けることができます。

なお、高等学校(通信制)入学は神奈川県立湘南高等学校です。

- 【受付期間】 平成19年11月1日(木) から平成20年1月8日(火)
- 【応募資格】 平成20年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で中学校卒業者又は中等教育学校の前期課程修了者
- 【採用試験】 平成20年1月12日(土)
- 【試験場所】 自衛隊島根地方協力本部(松江市学園1-1-14)
出雲市合同庁舎(出雲市大津町1139)
浜田市合同庁舎(浜田市片庭町254)
- 【合格発表】 第1次合格発表
平成20年1月21日(月)
平成20年4月上旬
- 【採用時期】 平成20年4月上旬
- 【お問い合わせ】 自衛隊島根地方協力本部
隠岐の島駐在員事務所
電話 2-8351
- ホームページ
<http://www.mod.go.jp/pco/shimane>



いつで隠・秘・お知らせ コーナー

10月は「労働保険 適用促進月間」です

全国の労働保険の適用事業場数は厳しい経済情勢の影響もあって、平成13年度以降、5年連続で前年度末を下回っていました。平成18年度末においては5年ぶりに増加に転じたところです。このような状況の中で、現在においても、依然として小規模零細企業を中心に、なお相当数の未手続事業が残されているのが実情です。

これら未手続事業の解消は、労働保険制度の健全な運営、費用の公平負担、労働者の福祉の向上等の観点から極めて重要であります。

こうしたことから、厚生労働省では10月を「労働保険適用促進月間」と定め、未手続事業の解消に努めることと



しています。

つきましては、この趣旨をご理解いただき、未手続事業の解消等にご協力いただきますようお願いいたします。

お問い合わせは、労働保険徴収室
(電話) 0852-20-7010)

労災保険制度のことなら 労災保険情報センターへ

財団法人 労災保険情報センター (RIC) では、厚生労働省の委託を受けて、労災医療、労災補償等の労災保険制度全般のご相談をお受けしております。

相談は無料で秘密は厳守いたします。お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ
財団法人 労災保険情報センター
〒690-0003
松江市朝日町477番地17
明治安田生命松江駅前ビル

電話 0852-26-4004
FAX 0852-26-4034
フリーダイヤル 0120-981-032
相談用メールアドレス 332-shimane@rou sai-ric.or.jp

◆終戦当時の引揚者の方々へ
通貨・証券などをお返ししています

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

◆終戦後、外地から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関又は海運局に預けられた通貨・証券など。

◆外地の集結地において、総領事館や日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち、その後日本に返還されたもの。

お心当たりの方は税関へお問い合わせください。ご本人だけでなく、ご家族の方も問合せや返還請求をすることができます。

お問い合わせ
境税関支署
〒684-0034
境港市昭和町9番地
境港港湾合同庁舎内
電話 0859-42-2228
FAX 0859-42-3893

知っていますか 建設業退職金共済制度

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」とい

う法律により国が作った退職金制度です。事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に、働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建設業界で働くことをやめたときに、建設共(勤労者退職金共済機構)から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

「加入できる事業主」建設業を営む方
「対象となる労働者」建設業の現場で働く人

【掛金】日額310円

特長

- ◎国の制度なので安全・確実、申し込みに手続は簡単です。
- ◎経営事項審査で加点評価の対象となります。
- ◎掛け金の一部を国が助成します。
- ◎掛け金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。
- ◎事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

ホームページに退職金の試算・パンフレット請求等、建設共済制度の情報が掲載されています。ぜひご覧下さい。

お問い合わせ
建設共島根支部
電話 0852-21-9004
ホームページURL
<http://www.kentaiyokaisyokukin.go.jp/>

今、話題!の光触媒リフォーム

こんな壁紙(クロス)ありませんか?
●タバコのヤニで黄ばんだ壁紙
●落書きや経年劣化で汚れた壁紙

↓
新品同様! ピカピカに生まれ変わります。

※好評につき、前月のお値段据え置きでのご提供です。
お問い合わせは今すぐ! ACCS®アックス光触媒システム正規施工店

TEL 2-3719 有限会社 **朝日砕石** 担当 重 栢 まで
e-mail info@asahi148.com URL http://asahi148.com
ホームページには施工前、施工後の写真を掲載しています。

a07-S0035
2006年携帯電話契約純増 No.1

携帯の調子が悪い
料金か思ったより高い
その他携帯電話でわからない事など

お気軽に
auプロスタッフに
ご相談ください!!

au端末の修理など、アフターサービスができるのは当店だけ!

au ショップ 隠岐 隠岐の島町原田1501-4
お問い合わせは **2-0220**

軽食・喫茶 **ライトハウス**
隠岐空港
チャンポン・ラーメンが好評です!

営業時間 AM9:00~PM7:00
(オーダーストップPM7:00)

第1・第3月曜日はドリンクのみ営業
(但し、祝日の場合は普段通り営業、
火曜日がドリンクのみの営業)

TEL 2-7001
岬町 隠岐空港ターミナルビル内

★ 空港からの眺めも素敵ですよ ★

隠岐の島で、FOMAエリアがさらに拡大! 海上もしっかり充実!
犬来周辺・釜周辺・那久周辺・三度周辺エリア拡大!
飯田周辺・東郷周辺・東町周辺品質向上!

※サービスエリア内であっても、一部電波が届かない場所ではご利用頂けない場合があります。詳しくは店頭スタッフまでお問い合わせ下さい。

☎ 0120-075445 営業時間/午前10時~午後7時
定休日/火曜日

ドコモショップ 隠岐店
〒685-0015 隠岐の島町港町塩口24-9
NTT西日本隠岐ビル1階


ゆったりとした保育室で 一人ひとりを大切にしたい保育をします

新園舎の特徴

- 全室冷暖房完備
- 床暖房 0~3歳児保育室 病後児・夜間保育室
- サンルーム 0~3歳児保育室
- 大型駐車場 60台収容
- 通園バス 隠岐の島町全域

園児募集 (予約受付中) 電話 2-0129

隠岐の島町下西吉賀下
隠岐共生学園 第二保育所 夜間保育所



隠岐の島町行事予定10月

ピックアップ

隠岐島後三大祭り 二年に一度、日天子・月天子が出会う
隠岐武良祭風流



10月19日(金)
11:00頃に行列出発
元屋 八王子神社:日天子
中村 一之森神社:月天子

元屋八王子神社の日天子と、中村一之森神社の月天子が、「武良郷」の飯美、元屋、中村、湊、西村の神々と一緒に、中村の会所(祭場)で出合い行われる祭りです。



一夜嶽牛突大会
10月13日(土)
13:30~
五箇 一夜嶽牛突場

一夜嶽牛突き大会は、本場所の千秋楽。隠岐を代表する大会です。

各種相談窓口 お気軽にご相談ください!

- 生活保護相談・母子相談
隠岐の島町福祉事務所
TEL 2-8561 平日8:30~17:00
- 児童相談
隠岐の島町子育て支援室
TEL 2-8577 平日8:30~17:00
- 保健所相談窓口
隠岐保健所 TEL 2-9701
- 島根いのちの電話
社会福祉法人島根いのちの電話事務局
TEL 0852-32-5985 毎日 9:00~22:00
- 警察の相談窓口電話
被害者相談 TEL 0120-556-491
悪質商法 TEL 0852-27-4649
性犯罪 TEL 0120-110-267
ストーカー TEL 0852-24-9110
- 隠岐法律相談センター予約受付
TEL 0852-21-3450
※前日17:00までに予約が0件の場合は開催しませんのでご了承ください。

1日	月	図書館休館日
2日	火	
3日	水	
4日	木	
5日	金	
6日	土	
7日	日	
8日	月	体育の日 図書館休館日
9日	火	学校体育館及び町民体育館利用者説明会 図書館休館日 19:00~(文化会館)
10日	水	
11日	木	
12日	金	
13日	土	子どもたちの写真展(~14日まで) 10:00~15:30(隠岐養護学校体育館) 一夜嶽牛突大会 13:30~(一夜嶽牛突場)
14日	日	第9回全隠岐テニス大会 8:30~(あいらんどパーク) 第30回隠岐の島町バドミントン選手権大会 8:30~(レインボーアリーナ)
15日	月	行政相談週間(~21日) 図書館休館日
16日	火	
17日	水	
18日	木	交通安全県民大会 11:40~(文化会館) 人権相談 13:00~16:00(文化会館)
19日	金	隠岐武良祭風流 11:00頃~
20日	土	
21日	日	音楽のつどいミックス 14:00~(文化会館) 図書館休館日
22日	月	図書館休館日
23日	火	
24日	水	
25日	木	年金相談 13:00~16:00(ふれあいセンター)
26日	金	年金相談 9:00~12:00(ふれあいセンター) 隠岐法律相談センター 13:00~15:00(文化会館)※要予約
27日	土	子どもたちの写真展表彰式 13:00~15:30(文化会館)
28日	日	
29日	月	図書館休館日
30日	火	
31日	水	

お食事・遊覧船 中村海水浴場前
さざえ村
TEL 4-0611

お食事メニュー
・さざえ丼
・さざえカレー
・さざえのつぼ焼きなど

営業時間
11:00~15:00くらいまで
定休日
シーズン中は休みなし

隠岐から食卓へ笑顔をお届けしたい
隠岐笑店
http://shop.e-oki.net

大切なあの人へ 美味しいものを贈ろう
懐かしいあの人へ 故郷の味を贈ろう

中町目貫の四 隠岐汽船本社ビル2階
Tel:(3)0220 / Fax:(2)7100 / Mail:shouten@e-oki.net

広告掲載は随時募集しています。町外7,000円、町内6,000円(1回1枠)年間契約なら15%割引。掲載希望月の5日×切。広告掲載をご希望の方は、隠岐の島町役場総務課広報広聴係(2-2111)までご連絡ください。

いざ、出陣



9月15日(土)、隠岐古典相撲に出場する島前力士たちが、隠岐水産高校の練習船「わかしまね」で到着。大漁旗を掲げた漁船と一緒に西郷湾をパレードしました。舳先で風を切って立つ力士たちの姿は勇壮の一言。



異国に眠る同胞に頭を下げるプロホロフさん

ロシア総領事が 西郷ロシア人墓地を訪問 国境を越えた真心に感動

8月17日(金)、西郷小学校裏のロシア人墓地にロシア総領事が訪れ、同胞の霊に祈りをささげました。このロシア人墓地は明治38年(1905年)の日本海海戦時に漂着したロシア兵を供養するため、建てられたものです。訪問したのは在大阪ロシア総領事のイワン・V・プロホロフさん。この日はまず役場を訪れ、墓の掃除などの管理をされている石川通政さんから老人クラブ福寿会のメンバーの方たちと会談し、長年に渡る活動に感謝の意を伝えました。その後、西郷小学校の裏手にあるロシア人墓地に向かい、花を手向けて異国の地で散った同胞に思いをめぐらせていました。

一・月・一・話

一昔前までカメラといえばフィルムのカメラでした。しかし今やカメラはデジタルの時代です。今回の隠岐古典相撲でも写真を3,600枚撮影しましたが、これもフィルムの枚数を気にしないで撮れるデジカメならではの。

当日の会場でも、デジカメ片手に観戦されている方が多く見られました。パソコンが1台あれば写真の加工・印刷などが手軽にできてしまうデジタル写真は、その便利さで「写真を撮る」ということをより身近にしました。インターネットで発表の場が大きく広がったことも一因です。今回の古典相撲もホームページやブログなどで多くの方が紹介されると思います。

起源をさかのぼれば約300年前からの形を残す古典相撲。周りの環境は絶えず変わっていきませんが、どんなに技術が進歩しようとも、島が一つになるこの瞬間は変わらず記録され、紹介されていくことを願っています。

(安)



総合誌隠岐の島 10月号

(通算第36号)

編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係

〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地

TEL (08512)2-2111 (代表)

FAX (08512)2-6005

表紙題字 脇田 泰造氏 (下西)